

英語力向上に向けて、MEXCBTを使ってみました！ 埼玉県ver.



埼玉県での活用はこれだ！

話すこと【発表】と書くことの領域を統合し、発信力の向上を目指す取組（中学2，3年生）

STEP1【話すこと 1回目】

- ・実際に録音しながら、話すことの問題1-1（全6問）に取り組む。
- ・解説を読んで、分からないことなどを生徒同士で話し合う。

活動の振り返りで、「モデルアンサーのように、1文を加えて答えられるようになりたい！」という生徒の声が多くあった。

（次時より）

- ・帯活動として、搭載問題を活用して1問ずつ、話す活動としてPicture Descriptionを行う。

内容面を中心に指導する。



【話すことに取り組む場面】

STEP2【書くこと】

- ・帯活動として、書くことの問題1-1（全10問）の絵を使って、毎時間1，2問ずつPicture Descriptionを行う。2年生は、授業中に話す活動を行い、家庭学習で英文を書き、学習支援ソフトを使って提出する。3年生は、授業中に話す活動から書く活動まで行う。

内容面と言語面から振り返り、指導する。

- ・（家庭学習）授業の帯活動で7時間かけて全10問に取り組んだ後に、書く活動として個人で問題（1-1）に取り組む。

STEP3【話すこと 2回目】（STEP1から約1か月後）

- ・話すこと1-1に再度取り組む。（プラス1の文は、モデルアンサーと同じものでなくてもよい）
- ・（家庭学習）授業中に自分が録音した英文を書き取り、学習支援ソフト等を使って提出する。
- ・（後日、授業中）友達が書いた英文を読み合い、今後活用できる表現をメモに残しておく。

生徒の書いた英文で共通して見られた誤りについて、学級全体で指導、練習する。



生徒の声・反応

- ・質問の意味はわかって、答えるのが難しかったです。海外の人と話す時にこういう力はとても大切だと思うので、たくさん練習していきたい。
- ・正確な文法がすぐに出てこなかったり、単語が思い出せなかったりしました。対人ならジェスチャーなどで乗り越えられそうだけど、録音になると正確性が求められるので即興で話す練習がもっと必要だと思った。



教師の声・反応

- ・4技能の問題があるのはとてもありがたい。特に「話すこと」について、対人で会話する機会はもちろん、パソコンに向かって話す機会を増やしていくことで英語力が磨かれると思う。
- ・日頃からスモールトークなどを実施しているので、1回目から3年生はかなり積極的に取り組んでいた様子がある。2年生にはまだ、レベルが高いと感じた。



教育委員会・学校で行った工夫が効いた！

レベルの高い問題も多く、モデルアンサーが生徒の実態に合わない。

上述のように、時間をかけて、2回取り組ませることで生徒は成長を実感していた。問題をいきなり解くのではなく、学級で確認した後に取り組ませたり、生徒同士で話し合いを行わせたりしながら取り組んだ。

「読むこと」の問題に良問があるが、授業内での時間の確保が難しく、生徒の習熟の程度の差も心配である。

3年生の英語学習に関心の高い生徒から、たくさんの英文を読んでみたいという声があったので、いくつかの問題を指定し、読むことの問題に挑戦するよう助言した。休み時間に問題に関する疑問や質問などを尋ねたり、英文のトピックについてALTに意見を聞いたりする生徒の姿が見られた。